

銘柄コード 7564

2019年3月期 決算説明会



株式会社 ワークマン

2019年5月10日 開催

- ・2019年3月期決算の概要 P3～P9
- ・今後の戦略について P10～P13
- ・2020年3月期決算の見通し P14～P19
- ・2019年3月期決算の詳細 P20～P26

● 2019年3月期決算の概要

今後の戦略について

2020年3月期決算の見通し

2019年3月期決算の詳細

決算概要



<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期			
	金額	前期比	実績	前期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	79,703	+7.3	93,039	+16.7	91,871	+2.2
(既存店売上高)	—	+4.7	—	+14.0	(+3.4)	(+10.6)
営業総収入	56,083	+7.7	66,969	+19.4	63,956	+4.7
販売費及び一般管理費	9,864	+7.9	11,672	+18.3	11,500	+1.5
営業利益	10,603	+11.0	13,526	+27.6	13,061	+3.6
経常利益	11,856	+10.4	14,755	+24.5	14,290	+3.3
特別損失	60	△37.4	26	△44.0	30	△10.6
当期純利益	7,844	+9.8	9,809	+25.1	9,510	+3.2
1株当たり当期純利益	96円12銭		120円20銭		116円53銭	

※ 2019年3月期の予想数値は、2019年2月6日発表の業績予想数値を使用しております。

※ 2019年4月1日付で普通株式1株に2株の株式分割を行っており、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

出店状況

- 開店 19店舗、スクラップ&ビルド(既存店舗の活性化) 2店舗、閉店 3店舗
- 2019年 3月末 837店舗(前期末比+16店舗)

店舗運営形態

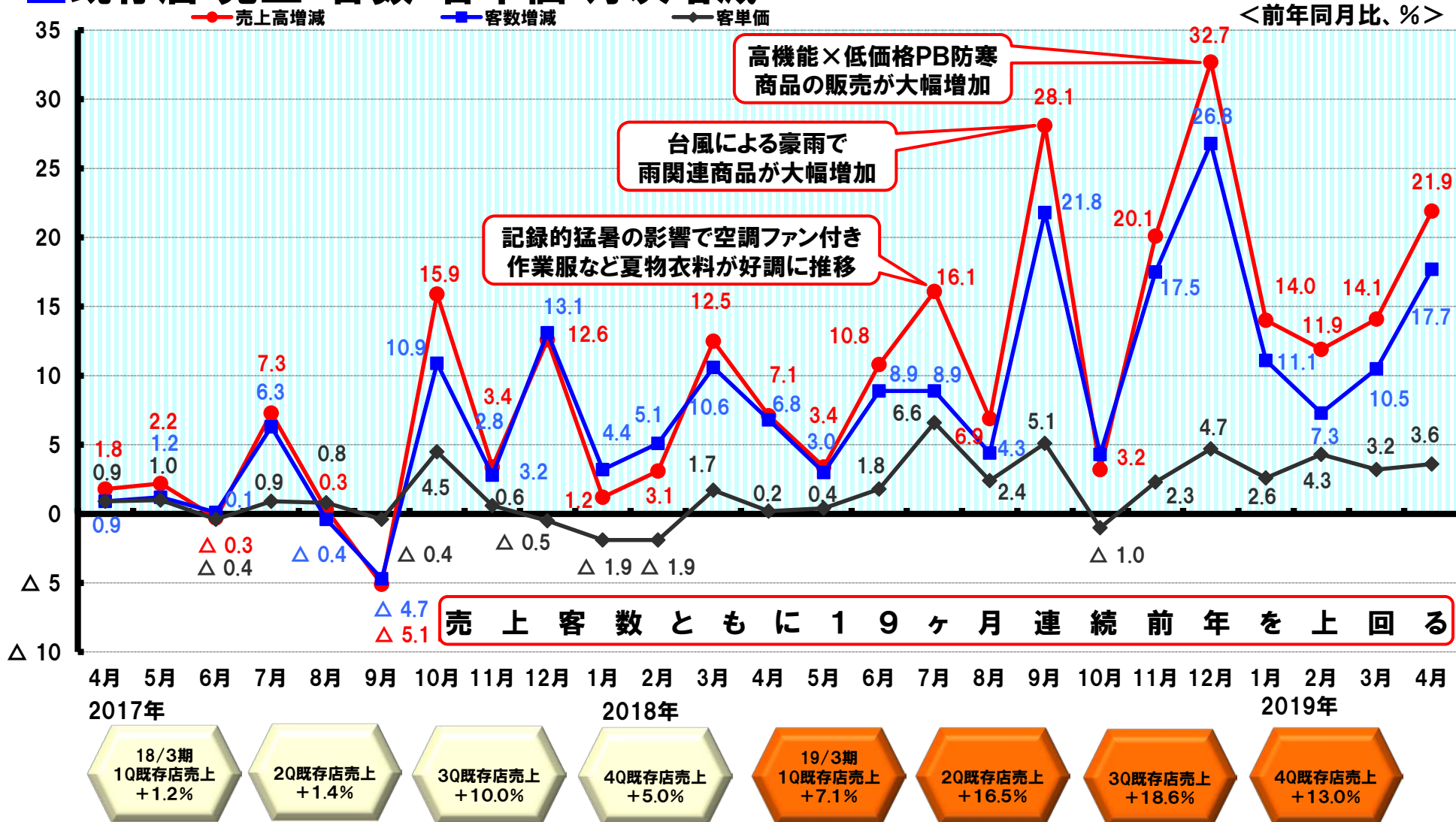
- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2019年 3月末 734店舗(前期末比+42店舗)
- 直営店:業務委託店舗 70店舗、トレーニング・ストア 33店舗 合計103店舗
- フランチャイズ・ストア比率 87.7%(前期末比+3.4ポイント)

販売強化

- プライベート・ブランド(PB)商品 1,022アイテムを展開
 - ・ PB商品の売上高 368億 50百万円(前期比 +44.1%)、PB比率39.7%
- 企業向け作業服 夏用:「WM COOLシリーズ」年間:「WM CRAFTシリーズ」
高機能ウェア 「エアロSTRETCHジャンパー」、「STRETCHマイクロウォームパンツ」
- 新テレビCMの放映、マスコミ・ブロガー向け商品発表会など客層拡大を推進

月次推移と要因

■既存店 売上・客数・客単価 月次増減



販売状況

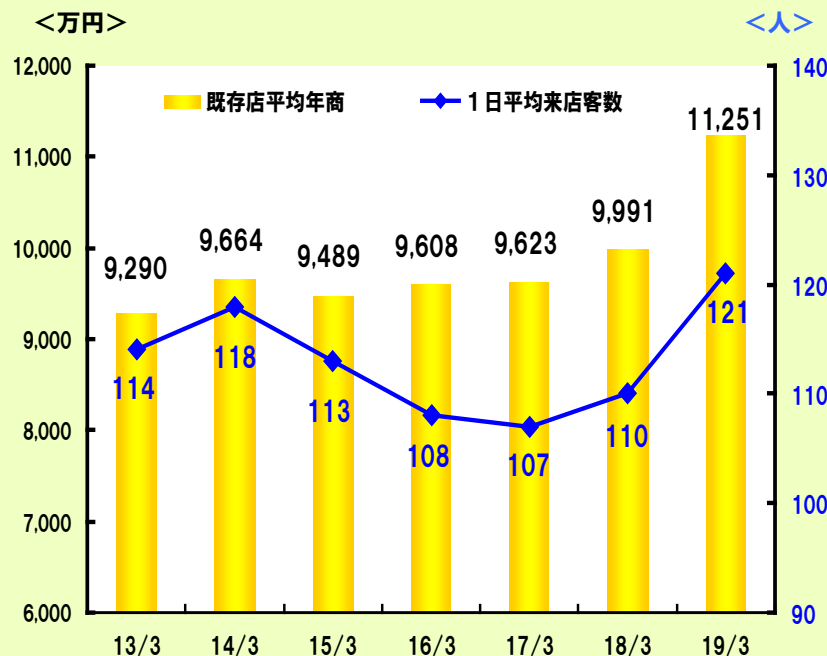
チェーン全店売上高 930億円 客数 3,482万人

<前期比、%>

	チェーン全店	既存店
売上高	+16.7%	+14.0%
客数	+13.4%	+10.9%
1日当たり平均客数	—	121人 (+12人)
客単価	2,671円	2,670円
	+3.0%	+2.8%
1品単価	1,001円	998円
	+41円	+37円
1人当たり買上点数	2.7点	2.7点
	前年と同数	前年と同数

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

既存店1店舗の平均年商と1日平均来店客数の推移



※2018年3月期以前の平均年商及び平均来店客数は各期毎に発表した数値を使用しており、対象店舗は2019年3月期の既存店舗とは異なります。

商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商 品 別	2018年3月期		2019年3月期		要 因	
	売上高	前期比	売上高	前期比		
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	7,651	+5.1	8,691	+13.6	ショートソックス 防寒靴下 防寒タイツ	前期比+20.2% 前期比+10.3% 前期比+49.8%
カジュアルウエア ポロシャツ・コンプレッションシャ ツ・Tシャツ・ハイネックシャツ等	9,006	+11.1	11,142	+23.7	スポーツ系防寒ブルゾン 半袖Tシャツ 長袖コンプレッション	前期比+67.4% 前期比+23.3% 前期比+19.1%
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	23,476	+12.0	28,689	+22.2	防寒ジャンパー カーゴパンツ 防寒ズボン	前期比+41.4% 前期比+45.2% 前期比+77.0%
履 物 安全靴・セーフティシューズ・地下 足袋・長靴・厨房シューズ等	14,730	+1.8	16,035	+8.9	アスレシューズ 厨房シューズ セーフティシューズ	前期比+51.7% 前期比+56.7% 前期比+ 5.0%
作 業 用 品 軍手・革手袋・加工手袋・マス ク・ヘルメット・レインスーツ等	22,543	+6.0	25,664	+13.8	レインウエア 防水防寒スーツ 作業手袋	前期比+27.9% 前期比+53.4% 前期比+ 8.8%
そ の 他 食品白衣・オフィスユニフォーム・ 不織布作業服・オンラインストア等	2,295	+4.4	2,815	+22.7	女性用レインウエア 防寒女性衣料	前期比+ 76.3% 前期比+198.7%
合 計	79,703	+7.3	93,039	+16.7		

プライベート・ブランド(PB)商品販売状況

高機能ウェアの開発・販売で客層拡大を図る



■ 2018年4月～2019年3月実績

- ・PB商品売上高 368億 50百万円(前期比+44.1%)
- ・PB比率 39.7%(前期比+7.5ポイント)

■ ブランド別販売状況(2018.4月～2019.3月)

ブランド名	アイテム数(前年)	販売点数 (前期比)	販売金額 (前期比)
アウトドア向け「 FieldCore 」	150 (35)	305万点 (226.2%)	71億31百万円 (213.0%)
スポーツ向け「 Find-Out 」	143 (35)	341万点 (354.6%)	36億90百万円 (356.5%)
高機能防水防寒「 AEGLIS 」	36 (17)	48万点 (167.1%)	23億70百万円 (245.3%)
合計	329 (87)	695万点 (266.9%)	131億93百万円 (246.6%)

2019年3月期決算の概要

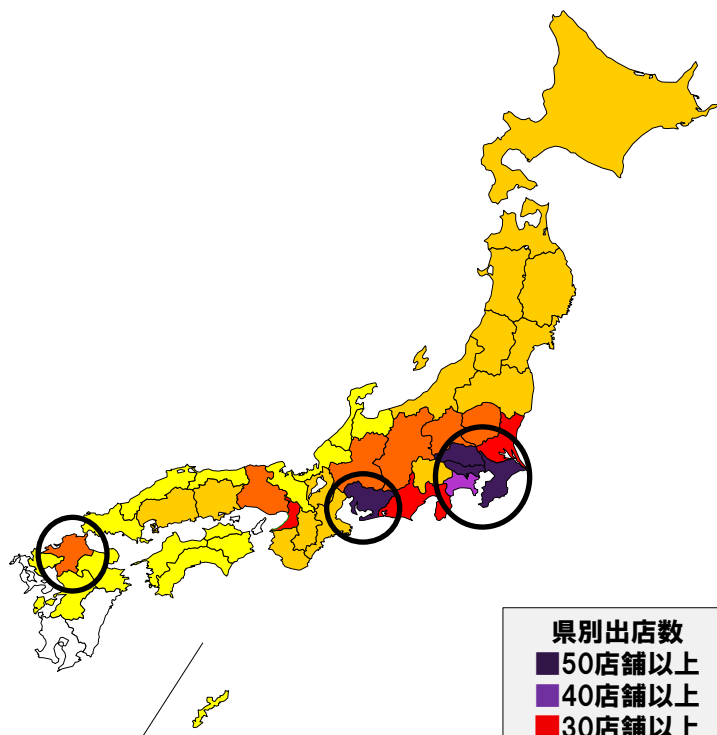
● **今後の戦略について**

2020年3月期決算の見通し

2019年3月期決算の詳細

ワークマンプラスの出店加速と、一般客の来店が多い地域への出店強化

2025年1,000店舗体制の構築



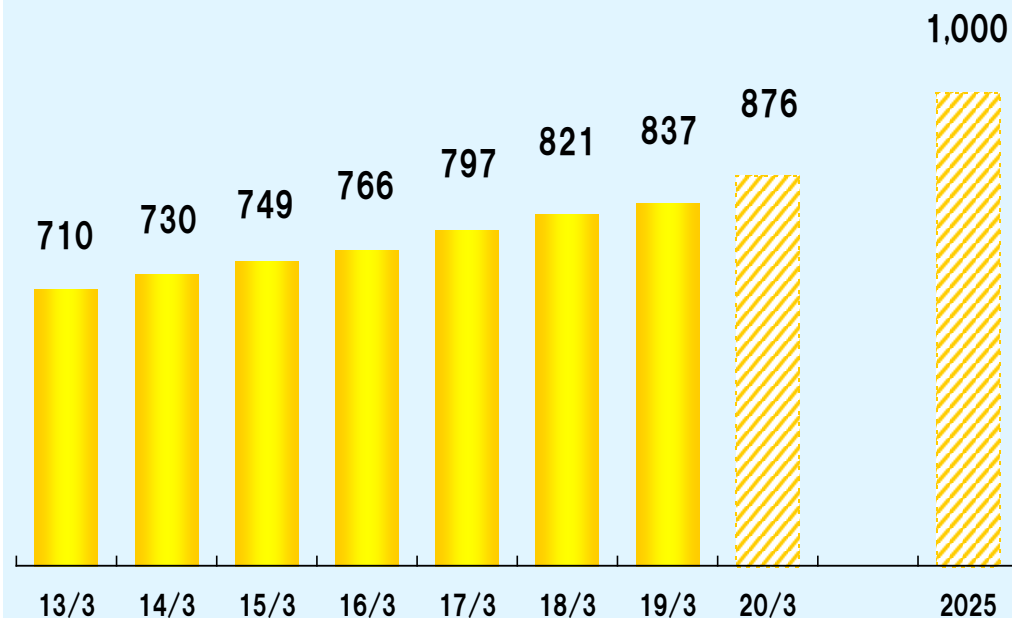
(2019年3月期末出店状況)

県別出店数

- 50店舗以上
- 40店舗以上
- 30店舗以上
- 20店舗以上
- 20店舗以下

期末店舗数の推移

(2019年3月期以降は目標値)



ワークマンでしか買えないプライベート・ブランド(PB)商品の開発を強化

- ワークマン主力3ブランドの強化による客層拡大
- EDLP商品の充実で価格競争力を強化
- 法人営業向け「G-Next」商品の開発で加盟店を支援



法人営業の推進でフランチャイズ・ストア平均年商1.5億円の実現

- 法人営業に対応したPB商品の展開
- ワークマンカタログのダイレクトメール発送と全国紙の全面広告掲載
- 需要予測発注システムの導入とスーパーバイザーの同行営業サポート



(商品展示会「G-NEXTシリーズ」コーナー)



※店舗数は加盟店頭彰制度サクセスクラブ(年商1億円達成)の対象店舗数です。
※対象期間は1月～12月です。

2019年3月期決算の概要

今後の戦略について

● **2020年3月期決算の見通し**

2019年3月期決算の詳細

<単位:百万円、%>

	2019年3月期		2020年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	93,039	+16.7	103,500	+11.2
(既存店売上高)	—	+14.0	—	+7.8
営業総収入	66,969	+19.4	71,866	+7.3
販売費及び一般管理費	11,672	+18.3	12,833	+9.9
営業利益	13,526	+27.6	15,011	+11.0
経常利益	14,755	+24.5	16,300	+10.5
特別損失	26	△56.0	15	△43.5
当期純利益	9,809	+25.1	10,889	+11.0
1株当たり当期純利益	120円20銭		133円43銭	
期末営業店舗数	837店舗		873店舗	

決算の見通しポイント

■販売計画

	チェーン全店	既存店
売上高	1,035億円 前期比+11.2%	前期比+7.8%
	上期+14.0%・下期+9.0%	上期+11.0%・下期+5.1%

■出店計画

・新規出店はすべてワークマンプラス 総店舗数 2020年3月末 873店舗を予定
(ワークマンプラス店舗数)

	ショッピング センター店舗	ロードサイド 店舗	ロードサイド 改装転換店舗	累計
2019年3月末	3店	6店	3店	12店
出店・改装計画	6店	30店・S&B5店	22店	63店
2020年3月末予定	9店	41店	25店	75店



●WORKMAN Plusららぽーと立川立飛店（ショッピングセンター1号店）

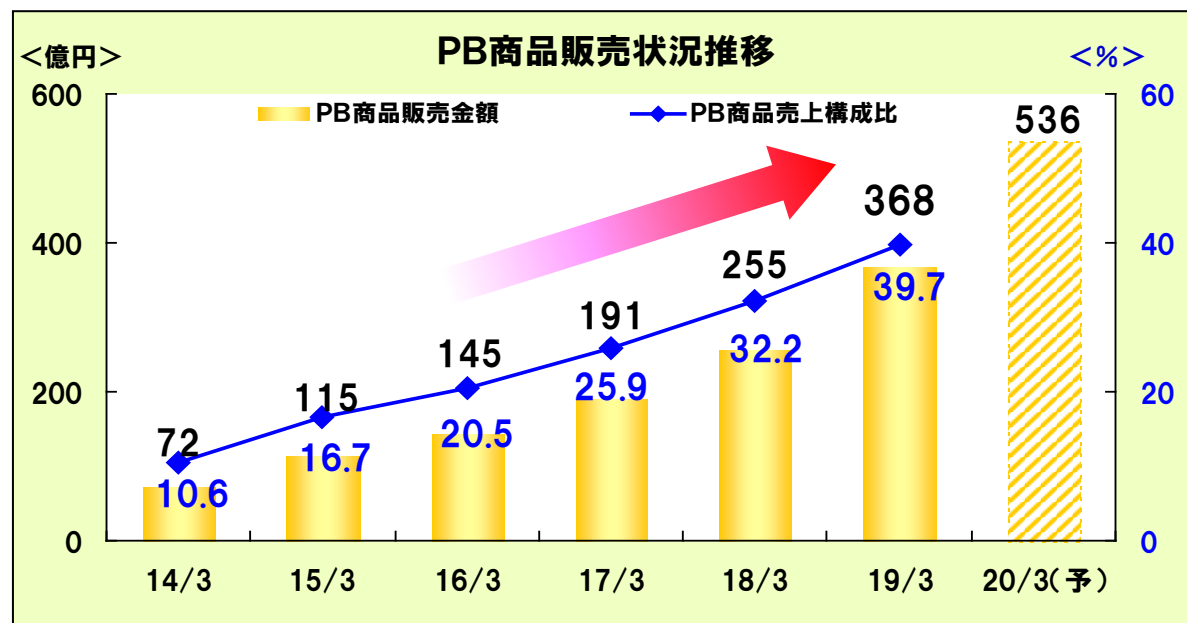


●WORKMAN Plus川崎中野島店（ロードサイド1号店）

プライベート・ブランド(PB)商品

2020年3月期計画

- PB商品売上高 536億(前期比 約45%増)
- 一般顧客向け主力3ブランド(フィールドコア、ファインドアウト、イージス)の開発で客層拡大を推進 ⇒ 販売計画 310億円
- ネット販売に定価で負けない低価格作業服(G-NEXT商品)の開発



加盟店サポート強化

■ 加盟店サポート策

- ・ 既存店のワークマンプラス改装の実施でプラス効果波及
- ・ 需要予測発注システムの導入による販売機会ロス抑制及び店舗運営の省力化
- ・ 法人営業バックアップ
⇒ スーパーバイザー同行営業、顧客管理システム活用促進

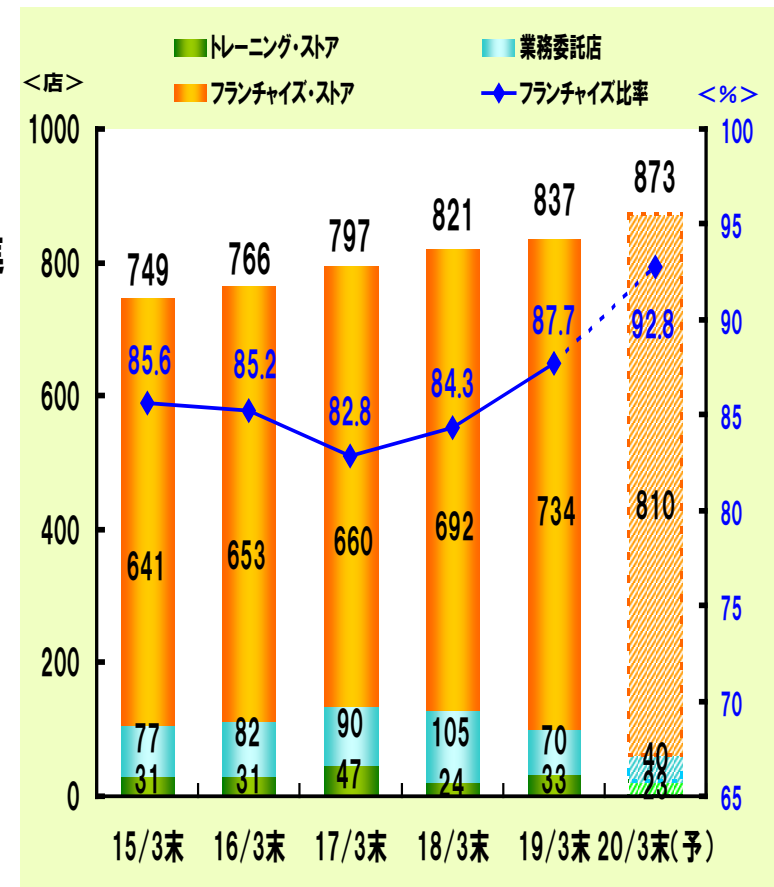
■ 個店売上の向上でフランチャイズ・ストア化を推進

- ・ 2020年3月末フランチャイズ・ストア 810店舗
- ・ 運営形態変更計画

業務委託店→フランチャイズ・ストアへ

30店舗変更(前期実績 29店舗)

期末運営形態別店舗数の推移



■ 基本方針

当社は、株主の皆様に対して、適正な利益配分を継続して実施することを経営の重要課題と位置づけ、永続的な成長を実現するために必要な内部留保の充実を図りながら、業績に基づいた利益の配分を行っております。

■ 配当性向 30%を目処

■ 1株当たり配当金

・ 2019年3月期

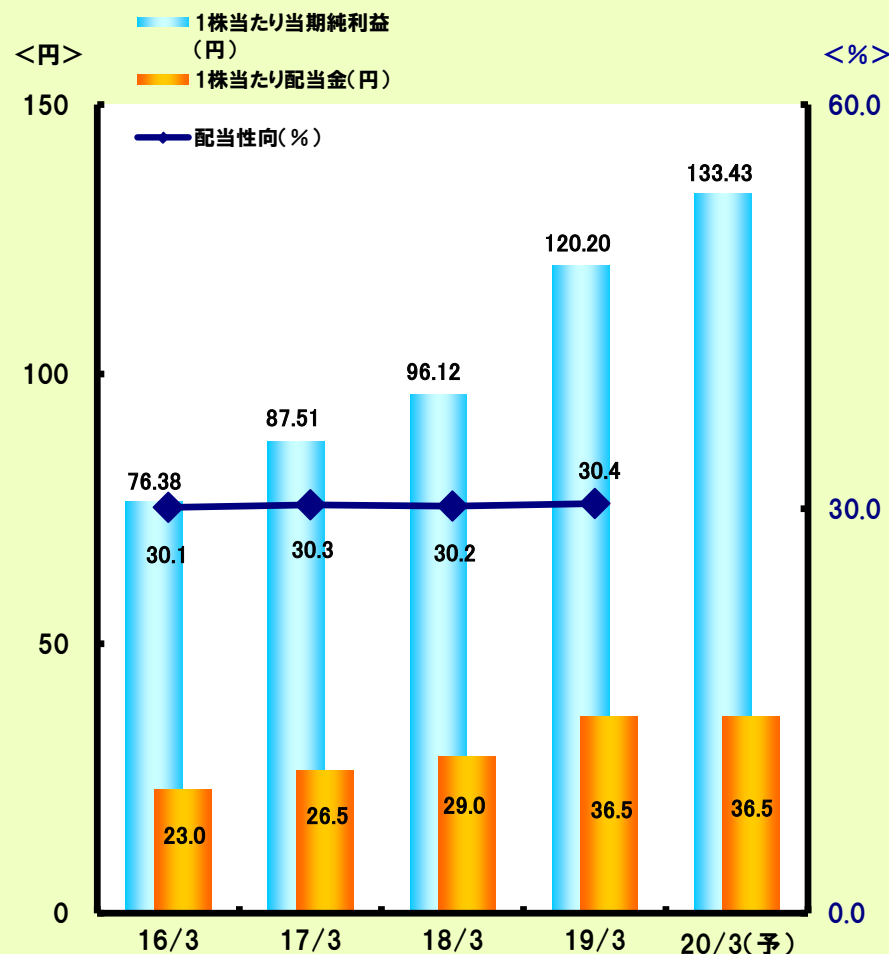
15円増配し73円を予定。(9期連続増配)

※株式分割以前の配当金になります。

・ 2020年3月期

前期同様の 36円50銭を予想。

1株当たり当期純利益と配当金の推移



※2016年4月1日、2019年4月1日にそれぞれ1:2の割合で実施した株式分割を考慮した数値を記載しております。

2019年3月期決算の概要

今後の戦略について

2020年3月期決算の見通し

 2019年3月期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資 産 の 部	2018年 3月期末	2019年 3月期末	増 減	増 減 要 因
流動資産	51,916	61,596	9,680	
現金及び預金	38,174	44,220	6,046	P.23のキャッシュフロー計算書で説明
加盟店貸勘定	6,303	8,989	2,686	対象店舗が91店舗増加(620店舗→711店舗)、春夏商品の早期導入
商品	6,477	7,198	720	直営店在庫が2億56百万円減少、ショッピングセンター在庫が1億78百万円増加 オンラインストア在庫が2億円増加、流通センター在庫が1億22百万円増加、 海外仕入の未着商品が4億90百万円増加、
その他	960	1,188	219	
固定資産	21,330	21,586	255	
有形固定資産	14,913	15,192	279	
建物(純額)	7,850	7,976	125	出店・閉店状況 出店21店舗(S&B2店舗含む)、閉店3店舗
構築物(純額)	1,314	1,303	△10	出店形態 建物リース7店舗、土地リース12店舗
工具器具及び備品(純額)	820	1,013	193	
土地	3,988	3,988	—	
リース資産(純額)	908	885	△23	
その他(純額)	31	25	△6	
無形固定資産	288	266	△21	
投資その他の資産	6,129	6,127	△1	
長期前払費用	654	611	△42	
繰延税金資産	962	1,128	166	税効果会計に係る会計基準の適用
差入保証金	4,498	4,373	△125	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
その他	13	13	0	
資産合計	73,246	83,183	9,936	

貸借対照表2

<単位:百万円>

負債/純資産の部	2018年 3月期末	2019年 3月期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	10,932	13,281	2,348	3月売上好調による加盟店分配金の増加や改装什器の購入
買掛金・加盟店買掛金	3,955	4,972	1,017	
未払金	1,753	2,324	570	
未払法人税等	2,408	3,291	882	
未払消費税等	610	504	△106	
その他	2,203	2,188	△14	
固定負債	2,936	2,975	39	
リース債務	1,050	1,017	△32	
資産除去債務	1,013	1,108	94	
その他	871	849	△22	
負債合計	13,868	16,256	2,388	
株主資本	59,433	66,876	7,442	
純資産合計	59,378	66,927	7,548	
負債純資産合計	73,246	83,183	9,936	

キャッシュ・フロー計算書

<単位:百万円>

	2018年3月期	2019年3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,857	9,657	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,467	△5,638	△1,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,264	△2,473	△208
現金及び現金同等物の増加額	3,125	1,546	△1,579
現金及び現金同等物の期首残高	15,548	18,674	3,125
現金及び現金同等物の期末残高	18,674	20,220	1,546

■営業活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・税引前当期純利益で 29億 33百万円増加
- ・減価償却費で 86百万円増加
- ・仕入債務の増加で 10億 36百万円増加
- ・加盟店貸勘定の増加で 1億 51百万円減少
- ・たな卸資産の増加で 8億98百万円減少

■投資活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・預入期間が3ヶ月を超える定期預金の預け入れ 55億円の増加
- ・預入期間が3ヶ月を超える定期預金の払い戻し 20億円の増加
- ・有形固定資産の取得による支出の減少で 24億 37百万円

■財務活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・配当金の支払額 2億 3百万円増加

損益計算書1

<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期			増 減 要 因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
営業収入	14,390		17,206		+19.6	
加盟店からの収入	11,311		13,860		+22.5	加盟店期中平均店舗数 当期717店舗、前期680店舗 37店舗増加 加盟店売上高 当期834億44百万円、前期710億98百万円 17.4%増加 荒利率…前期35.7%、当期35.9%
その他の営業収入	3,078		3,346		+8.7	国内メーカーからの仕入高(直買仕入等を除いた)前期比 12.4%増で業務受託収入約2億52百万円増加
売上高	41,692		49,762		+19.4	
直営店売上高	8,604	(100.0)	9,595	(100.0)	+11.5	ショッピングセンターやネット販売の売上高が増加
加盟店向け商品供給売上高	33,087		40,167		+21.4	加盟店売上高前期比17.4%増加
営業総収入	56,083	100.0	66,969	100.0	+19.4	
直営店売上原価	2,527	4.5	1,602	4.5	△36.5	
加盟店向け商品供給売上原価	33,087	59.0	40,167	60.0	+21.4	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	35,614	63.5	41,770	62.4	+17.3	

損益計算書2

<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期			増 減 要 因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
売上総利益	(6,077)	(70.6)	(7,992)	(83.3)	+31.5	直買仕入43.0%増加、平均支払レート1円26銭低下
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	20,468	36.5	25,199	37.6	+23.1	
販売費及び一般管理費	9,864	17.6	11,672	17.4	+18.3	増減要因 人件費 約1億83百万円増加 販売費 約4億46百万円増加 流通センター運営費用 約5億65百万円増加 店舗改装什器 約4億50百万円増加 ショッピングセンター運営費 約75百万円増加 本部移転費用 約43百万円増加 業務委託料など一般管理費 約2億79百万円増加 直営店期中平均18店舗減少 約2億 3百万円減少
営業利益	10,603	18.9	13,526	20.2	+27.6	
営業外収益	1,312	2.3	1,287	1.9	△1.9	
営業外費用	59	0.1	58	0.1	△2.6	
経常利益	11,856	21.1	14,755	22.0	+24.5	
特別損失	60	0.1	26	0.1	△56.0	
当期純利益	7,844	14.0	9,809	14.6	+25.1	

本資料お取扱に関してのお願い



- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動すること考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 財務部IRグループ

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>